

2024年度 会長あいさつ  
会長 須藤 英雄

2024(令和6)年度・前橋ユネスコ協会定期総会は、5月11日(土)前橋市第三コミュニティセンターにおいて開催されました。

私は、今回の総会で会長となりました須藤英雄と申します。年度の初めにあたりご挨拶を申し上げます。年齢は70歳になりましたが、まだまだ若輩です。これからも皆様とともにユネスコ活動を頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

前任の矢島会長は、新型コロナウイルスによる世情の混乱の中で、そのお人柄でユネスコ事業を積極的に推進されました。ご労苦に感謝を申し上げます。

さて、本会の昨年度は、総会后、コロナの状況を考慮しながら「コアアクション事業」「児童絵画展」「平和の鐘を鳴らそう」「文化財遺産巡り」などの事業を実施いたしました。

本年度もコロナウイルスに注意をしながら継続事業を中心にユネスコ活動を実施する予定です。会員皆様のご協力をいただきながら会を運営、推進してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、会員及びユネスコ関係皆様のご健勝・ご活躍をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



### 第3回平和の鐘を鳴らそう

2024年6月8日(土)10~12時まで広瀬川河畔にある「太陽の鐘」で、日本ユネスコ協会連盟として全国のユネスコ協会が実施している「平和の鐘を鳴らそう」に協賛して、前橋ユネスコ協会でも「平和の鐘」イベントを実施します。

当日は、前橋市国際交流協会が外国籍市民らと街中を歩く「チャット&ウオーク」が開催されます。

### 今年度の主な事業

- 5月11日(土) 前橋ユネスコ協会総会
  - 5月19日(日) 県;ユネスコ連絡協議会総会
  - 6月8日(土) 平和の鐘を鳴らそう
  - 6月15日(土) 日本ユネスコ協会連盟総会
  - 7月中旬 児童絵画展募集開始
  - 9月下旬~私の住みたい夢のまち絵画展
  - 10月12日(土) 関東ブロック大会(土浦)
  - 10月18日(金) 県;運営・事務局研修
  - 10月下旬 インドネシアバリツアー
  - 11月2日(土) 県;海外青年交換研修
  - 11月中旬 文化遺産めぐり
  - 11月23日(土) 日本ユネスコ運動全国大会
  - 12月3日(火) 県;ユネスコスクール研修
  - 1月~ 書き損じはがき回収
  - 2月1日(土) 県;新年懇親会
- ※ 県;=群馬県ユネスコ連絡協議会事業

**2024・2025年度前橋ユネスコ協会役員名簿**

【顧問】白石昭夫・阿久澤和夫、矢島俊夫

【会長】須藤英雄

【副会長】中村丙午・福島輝巳・関根長之・  
高島美幸・宮川孝子・樺澤富美男

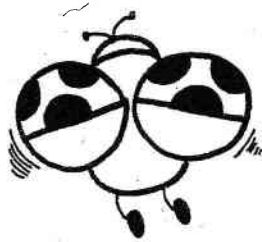
【理事】松澤滋子・高橋美恵子・谷田久・  
徳永政行・茂木正己・吉野ゆかり・  
女屋光明・大谷正巳・小島達夫・  
六本木幸恵・川端茂生・並木史一

【監事】加藤真一・福田覚司

【事務局】樺澤富美男(事務局長・副会  
長)・並木史一(事務局次長・理事)

【教育委員会担当】太田桃子(生涯学習課)

【名誉会員】小川晶(前橋市長)



**書き損じはがき回収(寺子屋運動)**

毎年実施しているユネスコアクション事業(寺子屋運動)による書き損じ葉書の回収事業は、例年、年賀はがきの時期に合わせて1月～3月に集中して回収して郵便局で切手に変え、日本ユネスコ協会連盟で実施している寺子屋運動に寄付をしています。

2023年度実績では、チラシや募金箱を市内の学校や公民館に送り、多くの皆様の協力により約4080枚、約24万円の収益を得ることができたため、早速、日本ユネスコ協会連盟に切手を送付して同事業にあてることができました。

皆様のご協力にお礼を申し上げます。

なお、書き損じはがきの収集については、常時行っています。ご協力ください。



**年間の事業報告!**

**文化遺産めぐり(報告)**

第2回文化遺産めぐり「わたしのまちの古墳探検隊」を開催した。

2023年11月19日(日)総社歴史資料館で、同館の展示を見学、総社地区をスタンプラリーで巡るイベントで、チェックポイントや運営にユネスコスクールの第6中学校の生徒も協力して実施した。参加者はクイズなどで歓声をあげ前橋市の文化財に触れた一日でした。

**児童絵画展(報告)**

第12回「私の住みたい夢のまち」絵画展を開催した。

市内小中学校から8月末までに募集した絵画728作品を審査し、その中から優秀な100作品とバリ島児童絵画を展示した。

日時;2023年9月23日～10月2日  
場所;前橋元気プラザ21(中央公民館)

表彰式;2023年9月24日(日)

## 県ユ連関係事業の事業報告！

コロナの影響もあり、役員を中心に各イベントに参加した。なお、総会は前橋で行われホストとして対応をした。

### ◆県ユ連総会

日時；2023年5月21日（日）

場所；前橋市中央公民館（元気21）

内容；議事承認後、ウガンダとウクライナの現況報告講演

### ◆視察研修

日時；2023年6月4日（日）

場所；安中市アプトの道

内容；地元のイベントとウォーキング

### ◆県ユ事務局研修

日時；2023年10月28日（土）

場所；富岡市社会教育館（一之宮）

内容；富岡市社会教育館の歴史講演と各ユ協との情報交換

### ◆海外青年交換研修

日時；2023年11月25日（土）

場所；大泉町文化村ホール

内容；大泉町の多文化共生の講話と、平野パウロ氏のスピーチ

### ◆ユネスコスクール研修

日時；2023年12月12日（火）

場所；地域づくりセンター藤岡

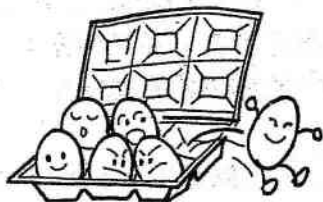
内容；横浜市、わたらせ特別支援学校の取組とベルクの発表

### ◆県ユ新年祝賀会・懇親会

日時；2024年2月3日（土）

場所；群馬県庁31Fヴォレシーニュ

内容；新年祝賀会と懇親会



## インドネシア交流（報告）

ガルーダインドネシア航空のバリ直行便が再開された昨年3月バリ島を訪問して交流の継続を確認してきました。その後、メールなどでバリ側と情報共有をしています。

今年度バリ島マドキン学園ヤムーナ校を訪問する計画しています。詳細は事務局にお問い合わせください。

日時；2024年10月下旬

内容；ヤムーナ校表敬訪問ほか

## 県ユ連総会（報告）

2023年度群馬県ユネスコ連絡協議会の通常総会は、5月21日（日）前橋市中央公民館（元気21）で開催された。今回は、前橋ユネスコ協会がホストユネスコ協会として開催した。会議の進行と、その後「今、平和を広めるために」と題して新井敦子青年海外協力隊員のウガンダ情報報告、群馬大学に学ぶウクライナ学生2名の現況報告が行われた。

## ステップアップ塾開設

NPO法人維新隊ユネスコクラブの「ステップアップ塾前橋敷島教室」（前橋市上小出町2-10-11ステージ敷島303号室）が、2022年12月11日（日）開塾式を開催しました。これに合わせて前橋ユネスコ協会から支援金を贈呈しましたが、昨年度に礼状をいただきました。

この事業は、日本ユネスコ協会と連携して、小学生4年から中学生を対象に、地元の高校生、群大生などがサポートし算数、英語を学ぶことができます。

### 事務局からのお知らせ

会費について、お知らせいたします。

2024年度事業は、皆さんの会費で活動をいたします。納め忘れがないよう早めの納入をお願いします。納入通知書の請求は、事務局へお願いします。

なお、問い合わせ等は事務局、生涯学習課（担当は太田さんです）。

- ・個人会員 1口 4,000円
- ・家族会員 1口 5,000円
- ・団体 1口 10,000円



### 雑学；感染症の歴史 3

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が2023年5月、インフルエンザなどと同じ5類となった。

しかし、その後1年間で2回感染率のピークがあるなど、まだまだ予断を許しません。私たちの生活では、人の集まる場所ではマスクをつけるなど注意が欠かせません。「パンデミック」の時のように感染したからと死に至るニュースはなくなりましたが、高熱や味覚を失う、障害が残ったetc.などの話を聞くことがあります。

インフルエンザやはしかなども含めて体力をつけて規則正しい生活をする事で健康に気を付けてまいりましょう。



### あとがき

ユネスコ憲章に基づくユネスコ活動は第二次世界大戦後から始まりました。この活動は各国とその国民が主体的に行うことになっているのにも関わらず、先の大戦後戦争の途絶えたことはありません。今回は話題を二つ紹介します。

現在では中東やイスラエルに係るものやウクライナ侵攻が大きな争いです。

ウクライナ侵攻2年となる今年2月24日上毛新聞の報道では、2023年の総兵力はロシア119万人、ウクライナ68.8万人。2024年国防関連費はロシア23兆円（歳出の39%）、ウクライナ6兆6千億円。戦死者はロシア12万人、ウクライナ7万人（戦死者は共にニューヨークタイムズ報道）とあります。この戦争に関連して、当事者だけでなく、物価や飛行機のフライトなど私たちにも影響しています。

話題のもう一つは、2023.11.20上毛新聞に投稿された、中国の情報です。この年に、日中友好交流会議で訪中したN氏は、天安門広場見学時にポケットに入れた日中友好の原稿を没収されたとのことでした。（この年の7月に改正反スパイ法が施行）この記事を読んだときに、私が初めて群馬県青年の船で中国を訪れた1979年の緊張感を思い出しました。

ナショナリズムが話題になるたびに、遠い国の中にも同じ人間が住んでいることを思い、改めてユネスコ憲章を確認する時だと思えます。（須藤）